

集落の力でイノシシによる農作物被害ゼロへ！

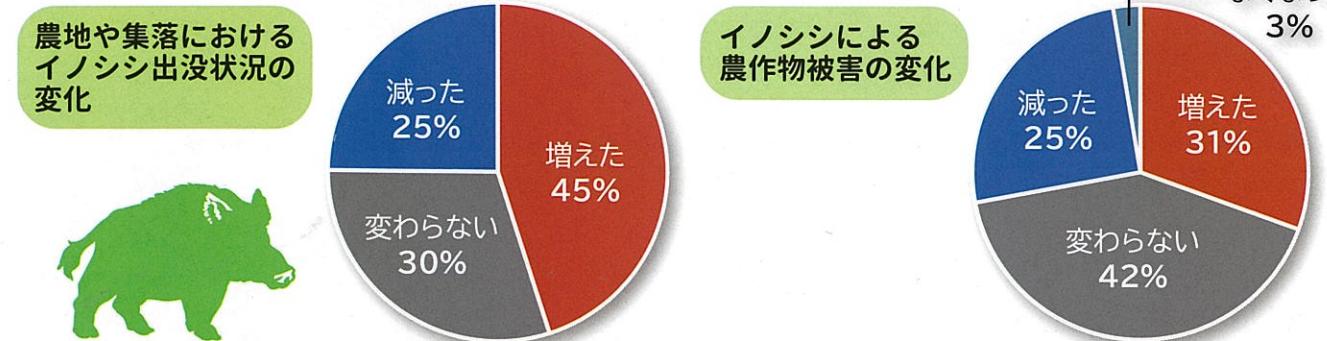
① イノシシによる被害と対策

石川県では、イノシシによる農作物被害を防止するため捕獲檻・防護柵の設置を進め、対策を強化しています。



② 出没・被害は減らす…

令和2年6月に石川県内の約350集落にアンケート調査を行った結果、過去3年間にイノシシの出没・被害が減った集落は少ないことがわかりました。



③ 集落による捕獲強化がポイント！

アンケートによると、箱わなによる捕獲数が過去3年間0頭の集落が、約26%もあることがわかりました。



アンケート:令和2年6月に石川県内の約350集落を対象に実施した集落におけるイノシシ捕獲実態調査
※グラフの捕獲数は、集落ごとの3年間の捕獲数の中央値です。

捕獲するためのポイントは中へ→



場所選びのポイント

わなの設置候補地を複数選び、事前の餌付けを行うことで捕獲できる可能性が高い場所を調べます。

- ①実際に出没している、痕跡がある場所
- ②車でのアクセスがいい場所
- ▶わなの運搬、捕獲個体の搬出がしやすい



これらを満たす場所を複数選定



餌付けをする！

事前に候補地に工サを撒きます



一番食べられた場所に
わなを設置します



1

設置場所選定

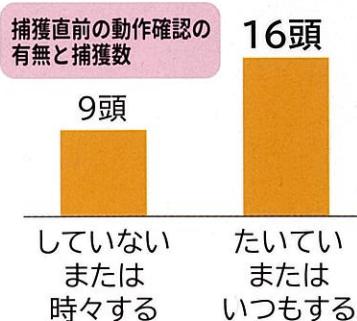


捕獲前のポイント

取り逃がしを防ぐため、
捕獲直前にわなの動作確認を
します。

チェック項目は2つ

- ①仕掛けがスムーズに作動するか？
- ②扉が落ちたらストッパーが
かかるか？

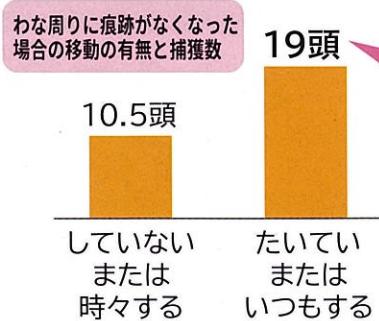


捕獲後のポイント

工サ撒きやわなの移動を行い、速やかに次の捕獲に移ります。

- ①場所を変えて捕獲する場合
もっと捕獲できそうな（痕跡が
多い）場所にわなを移動します。

- ②今の場所で続けて捕獲する場合
工サを撒いて、再び餌付けを行
います。



- ①工サを撒いたがしばらく
食べられていない
- ②わな周りに痕跡がなく
なった
→わなを移動します。

2

捕 獲

3





設置時のポイント

被害を減らすためには、成獣を捕獲することが重要です。

成獣がわなの奥に入るようになるまでは、扉が落ちないようロックしておきます。



2

わな設置



- ①設置時に仕掛けをセット
- ②扉はロック

▶仕掛け・わなに慣れさせます

成獣を捕獲する！

ウリ坊や中型獣類が入っても、仕掛けの下をくぐり抜けて扉は落ちません。

←高さ
(約40~60cm)

取り逃がしを防ぐ！

成獣の体全体がわなの中に入ってから扉が落ちるようにします。

見回り

3



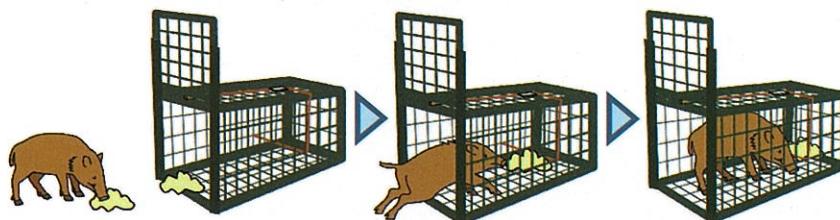
見回りのポイント

イノシシを工サ場（わな設置場所）に執着させ、わなの中に誘導します。

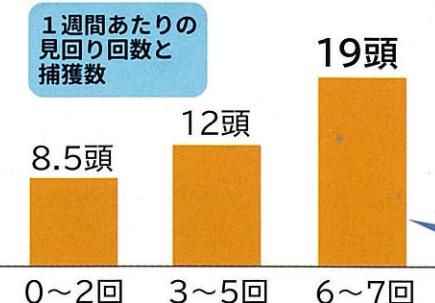
- ①餌付いたら、毎日工サを交換

- ②足跡、工サの食いつき具合を確認し、工サを撒く位置を移動

▶一度完食した場所には工サを撒かず、よりわなに近い位置に撒くことで、わなの奥へと誘導します。



1週間あたりの
見回り回数と
捕獲数



足跡を見て、成獣がわなの奥まで入っていることが確認できたら、扉のロックを外して捕獲しましょう！

見回り回数が多いほど
捕獲数も多くなっています。

集落ぐるみの協力体制により、 捕獲数UP!

イノシシがよく出没する場所、農作物被害が多いほ場、箱わなが置けそうなところなど、地元のことを一番知っているのは、住民のみなさんです。

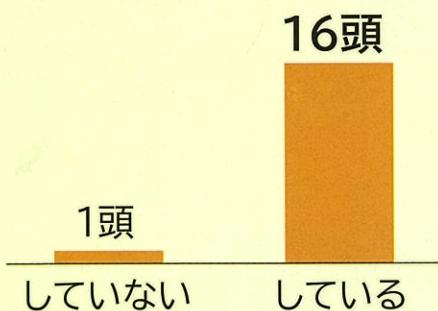
箱わなで使うエサ(米ぬか)の調達など、比較的容易に協力できる作業もあります。

捕獲作業の負担が一部の人に偏らないよう、集落ぐるみで協力できる体制を整えましょう。

アンケートをみると、捕獲数を上げるポイントは4つです。

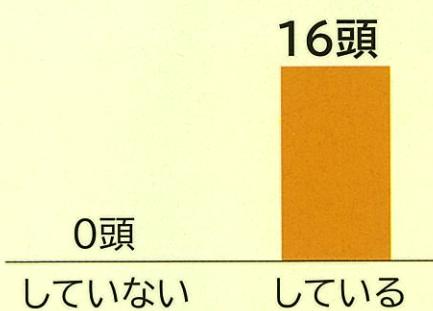
わなの設置場所選び

住民による設置場所の選定の有無と捕獲数



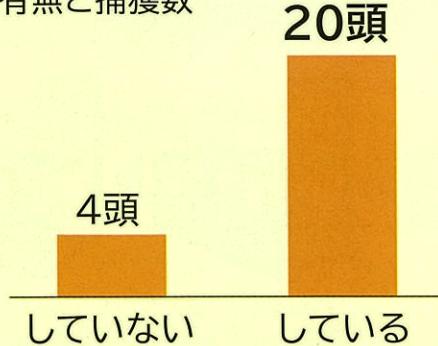
わなの見回り

住民による見回りの有無と捕獲数



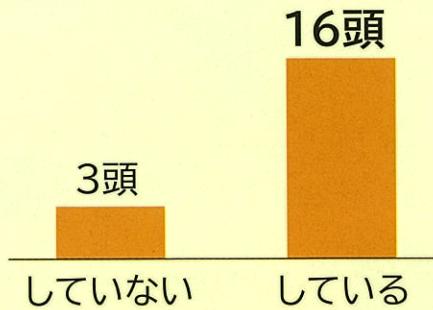
わなの移動

住民によるわなの移動作業の有無と捕獲数



エサ撒き

住民によるエサ撒きの有無と捕獲数



問い合わせ先

石川県農林水産部里山振興室 電話 076-225-1673 FAX 076-225-1618